

令和6年度 自己評価

幼保連携型認定こども園 やながせ保育園

1.保育理念・保育観		評価	
1	保育教諭一人一人が、園の保育理念、教育・保育方針を理解している。	A	各保育室に「教育・保育目標」を貼り、一人一人が理解を深められるようにしている。「『いいね』と『博士ちゃん』を見つける環境づくり」を掲げ主体性を大切にした保育となるよう取り組んでいる。
2	教育・保育方針を理解して、計画が立てられている。	A	
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	A	
4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	B	
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A	

2.保育計画・指導計画		評価	
1	教育・保育方針のねらい及び内容が達成できるような全体的な計画を立てている。	A	全体的な計画に沿って各クラス計画は立てられている。個別計画は、担当者によって個人差が感じられるので職員間で内容を共有して一人一人の発達に即した計画を立てていけるようにしていきたい。次年度は園内研修等を行い理解を深めていきたい。
2	全体的な計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間指導計画、月案、週案を立てている。	A	
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている。	B	
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	B	

3.食育		評価	
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	栄養士、調理員、保育教諭が連携し、食育計画を立て取り組んでいった。手作りおやつ回数も増えてきた。
2	栄養士・保育教諭が連携し、会議等で意見を交わしながら、より良い給食になるように努めている。	A	
3	出来るだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A	
4	給食やおやつは手作りをしている。	B	

4.職員構成・役割分担・研修		評価	
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	B	年度途中で産休を取得する職員が複数いたが、職員間で連携をとり、役割を分担しながら活動していくことが出来た。園内研修では、委員会の担当が率先して計画を立て、外部講師(消防署)に来てもらう機会も作ることが出来た。
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	B	
3	職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	A	
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	A	
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている。	A	

5.保護者支援		評価	
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている。	B	各行事終了後にアンケートをとり、保護者から多くの感想や意見をいただいたので、今後の運営への参考になった。情報公開については、日々の子どもの様子を掲示板やよい子ネットを有効に使うようにし、職員の中でも定着してきている。
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	A	
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付けている。	A	
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	B	

6.子育て支援		評価	
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	A	地域子育て支援拠点事業においては、新たにInstagramで活動内容や子育て情報を配信していくことで、利用者も増えてきている。
2	地域の子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	A	
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	B	
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	A	

7.小学校や地域社会との連携		評価	
1	定期的に小学校との交流を行っている。	C	高齢者との交流に関しては、コロナ禍で減っていた老人ホームとの交流。(誕生会、やながせ文化祭等)を少しずつ増やすことが出来ている。小学校との交流はほとんどできていないので、次年度に向け小学校に働きかけていきたい。
2	定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている。	B	
3	高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	B	

A:すべての点で目標、課題が達成できている。
C:取り組まれているが、成果が不十分である。

B:目標、課題が達成されている。
D:取り組みが不十分である。